

令和6年
10月号

濱田会計事務所通信

令和6年10月1日発行 Vol.86

先日、全国青年税理士連盟の皆様と東日本大震災の震災遺構視察をいたしました。

「津波が来ます！逃げて下さい！」と防災無線で最後まで町民に避難を呼びかけ、津波に巻き込まれて亡くなった若い女性職員が勤めていた防災庁舎や、多くの子供達が逃げ遅れて亡くなった大川小学校を訪れました。震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、改めて日々平穏に生きている事のありがたみを感じました。



株式市場価格が上下する原因

令和6年9月27日に、実質的に日本国の総理大臣となる自民党総裁選が行われました。第一回の投票結果と、第二回の投票結果が違う結果となり、その影響により株式市場は大きく動きました。

令和6年より新NISAの制度が開始されたことに伴い、株式投資を始める方が増えていると思いますので、何故このように大きく変動したかを解説してみたいと思います。

但し、この解説は私の個人的な見解によるところが大きいことをご了承下さい。

また、投資を行う際は自己責任で行って頂くようお願い申し上げます。

【金利による影響】

金利が上がると基本的には株式価格は下落します。その理由の一つとして、金利が上がると企業の業績にマイナスの影響が出る事が挙げられます。金利が上がる事により、新たに資金を借入れて設備投資などを行う意欲が削がれるため、日本全体の景気にも悪影響があり結果として株式価格も下がりやすくなります。

また、金利が上がると預金や債券を保有している場合、利益が増加します。『債権』とは国債や社債などの証券の事です。債権は、一般的には預金よりも金利が高く、株式よりも価格変動のリスクが低いといえます。株式は債権よりも下落のリスクが高いため、金利が上がって預金や債券などのリスクの低い運用でも利益が得られるのであれば、リスク回避のために資金が株式から預金や債券に流れやすくなります。

【為替による影響】

通貨安になると輸出企業にとってはプラスの影響があり、輸入企業にとってはマイナスの影響がありますが、その国の経済全体にとってはトータルでメリットの方が大きくなります。従って、通貨安になれば平均的な株式価格は上昇傾向となります。

また、日本の株式市場で売買している投資家の約7割が海外投資家のため、海外から見ると円安は株式を割安で購入できることとなります。従って通貨安になると株式価格は上昇しやすくなります。

上記のような理由で株式市場は大きく変動しますが、金利や為替は各国の中央銀行や政府の方針や政策により大きく影響を受けます。そのため、影響力のある政治家がどのような発言をするかなどにより、実際は金利や為替が変わっていなかったとしても、変わりそうだという理由で大きく変動することがあります。



金利が上下する原因

株式市場は金利の影響を受けやすく、金利が上がれば株式価格は下落傾向となり、金利が下がれば株式価格は上昇傾向となります。金利が上下する原因は、以下のような事柄が挙げられます。

【インフレによる影響】

インフレとは物の値段が継続的に上昇する経済現象です。例えば今 100 万円の商品が 1 年後には 101 万円になっている場合、インフレ率は 1% となります。

インフレ（物の値段が上がる）の要因は、簡単に言えばその商品を欲しい人が多い（デマンドプル）、仕入の値段が上がって販売価格を上げざるを得ない（コストプッシュ）などです。

例えば、今 100 万円の商品の購入をしたくてもお金がない場合、お金を借りて買うか、お金が貯まるまで待ってから購入するかの選択肢があります。

仮にこの場合、金利が 1% でインフレ率が 2% であったとします。

今買うために 100 万円を借りて、お金を貯めて 1 年後に借入金を返済すれば、支払いの合計は金利 1 万円を足した 101 万円となりますが、借入をせずにお金を貯めて購入すれば、1 年後にはインフレにより商品は 102 万円となっているので、支払いの合計は 102 万円となります。

このように、インフレの経済状況下では金利を払ってでも借りた方が有利となるので、インフレになると金利が上がりやすくなります。

また、インフレ率が高くなりすぎると経済への悪影響を考慮して、各国の中央銀行（日本でいえば日本銀行）が政策金利を引き上げるため、これにより民間の金融機関の金利も上昇しやすくなります。

【資金需要による影響】

金利とは、簡単に言えばお金の値段です。

お金を借りたい人が多くなれば金利は上がり、借りたい人が少なくなれば金融機関は借りてもらうために金利を下げます。

現在の日本は、以前よりも企業の資金所有額が多いため、借入の需要はそれほど大きくなりづらく、金利は上昇しづらいと考えられます。



* お客様紹介 *

株式会社 土井オート 様

神戸市須磨区にて民間車検及び自動車整備全般を行われています。大事なお車の為に、お客様の立場に立ってより良い提案を心掛けていらっしゃいます。

土井社長は、所長の高校の同級生でもあり、古くからお付き合いを下さっています。今後とも何卒よろしくお願いたします。

【事業】 車検/点検/整備/板金/塗装 /新車・中古車販売
車両の下取・買取レンタカー業務 オークション
代行業務・その他、適法な一切の業務

【住所】 神戸市須磨区妙法寺
菅の池 672-8

【電話】 078-797-4465

※ <https://doi-auto.com/>



濱田会計事務所 HAMADA ACCOUNTANT OFFICE

濱田会計事務所

〒670-0053

兵庫県姫路市南車崎 2 丁目 4-13

TEL : 079-229-9041

Fax : 079-229-9049

E-Mail : info@hamadakaikei.jp

URL : <http://hamadakaikei.jp>

会社のこと、事業のこと、
相続のこと…一緒に考えましょう！



無料
メールマガジン
登録はこちら

